

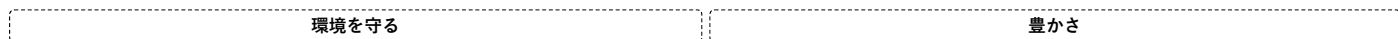
**このページのゴール** この単元で学ぶ税金・財政・社会保障・少子高齢化・公害と環境・豊かさを、ざっと言える

家計・企業

税金 ▶  
◀ 社会資本・公共サービス  
◀ 社会保障

政府  
国・地方公共団体

▲▼  
国債（借金）



税金は、どんな種類があり、何に使われている？ 政府は、景気をどう安定させる？

社会保障には、どんなしくみがある？ 少子高齢化で、何が問題になる？

公害は、なぜ起こり、どう取り組んできた？ ごみや資源の問題には、どう取り組む？

国の経済の大きさは、どう測る？ 本当の豊かさとは？

[illegible]

## 2 財政とは何？なぜ税金を納める？

このページのゴール 財政、歳入と歳出、予算、納税の義務と税金を納めるわけを言える

### ① Aさんの家が納める税金

Aさんの家では、家の人の給料から**所得税**と**住民税**が引かれ、買い物では**消費税**を払い、家と土地には**固定資産税**がかかります。これらの税金は、何に使われるのでしょうか。

**財政（ざいせい）**：政府（国や地方公共団体）が、税金などでお金を集め、それを使って国民のために仕事をする経済の活動。

| 家計・企業                            | 身近な例  | 税金で支えられている中身           |
|----------------------------------|-------|------------------------|
| ▼税金 ▲暮らしを支える<br>社会資本・公共サービス・社会保障 | 学校    | 公立の小・中学校の授業料は無料。教科書も無料 |
| 政府<br>集めるお金＝歳入／使うお金＝歳出           | ごみの収集 | 家庭のごみを集めて処理する          |
|                                  | 道路や信号 | 道路をつくり、信号を設置する         |
|                                  | 警察・消防 | 事件や火事のときに対応する          |

このほかにも、公園や図書館が税金で整えられています。

### ② 歳入と歳出、予算

**歳入（さいにゅう）**：国や地方公共団体の1年間の収入。**歳出（さいしゅつ）**：1年間の支出。  
**予算**：1年間の歳入と歳出の計画。国の予算は内閣がつくり、国会が議決する。

国の歳入の中心は**税金（租税〔そぜい〕）**で、足りない分は国債で借ります（5ページ）。国の歳出で最も多いのは**社会保障関係費**（年金・医療・介護などにあてるお金。6～9ページ）です。ほかに、国債の返済と利子の支払い（国債費。5ページ）、地方公共団体に配る地方交付税交付金など（⑦後半で学んだ）、公共事業・教育・防衛などがあります。

**納税（のうぜい）の義務**：日本国憲法第30条は、国民に税金を納める義務を定めている（⑤後半で学んだ三大義務の1つ）。税の種類や税率は、国会が法律で決める。

**なぜ税金を納めるのか**：道路・学校・警察・消防や、病気や高齢で困ったときの支えは、もうけにならず、企業の力では十分に用意されにくい物です。そこで、みんなで税金を出し合い、政府が用意します（くわしくは4ページ）。

**注意** × 税金は、国が使うお金なので、私たちの暮らしには関係がない ○ 学校・道路・警察・消防・社会保障など、**暮らしを支える仕事**に使われる

合言葉 「税金は、みんなで出し合う暮らしの会費」

→ まとめ：政府は、税金などの歳入を集め、予算にもとづいて歳出として使う（財政）

### 3 税金にはどんな種類がある？ 公平に負担するには？

このページのゴール 直接税と間接税、国税と地方税、累進課税、消費税の逆進性を言える

#### ① 国税と地方税、直接税と間接税

国税：国に納める税。地方税：都道府県や市（区）町村に納める税。  
直接税：税を納める人と負担する人が同じ税。間接税：税を納める人と負担する人が異なる税。

|     | 直接税           | 間接税            |
|-----|---------------|----------------|
| 国税  | 所得税・法人税・相続税   | 消費税・酒税・関税・揮発油税 |
| 地方税 | 住民税・固定資産税・事業税 | 地方消費税・たばこ税     |

所得税は個人の所得にかかる税、法人税は会社などの所得（利潤）にかかる税です。消費税は、商品を買った人が負担し、店などがまとめて国などに納めるので、間接税です。

#### ② 累進課税

累進課税（るいしんかぜい）：所得が多い人ほど、高い税率をかけるしくみ（所得税・相続税）。所得の差を小さくする働きがある。

例（架空の税率）：所得のうち、400万円までの部分は10%、400万円をこえる部分は30%

| 所得    | 税額                                               | 割合  |
|-------|--------------------------------------------------|-----|
| 250万円 | 250万円×10%=25万円                                   | 10% |
| 800万円 | 400万円×10%+（800万円-400万円）×30%<br>=40万円+120万円=160万円 | 20% |

#### ③ 消費税の逆進性

消費税：商品やサービスを買ったときにかかる税。所得の多い少ないに関係なく、同じ物を買えば同じ額の税を払う。  
逆進性（ぎゃくしんせい）：所得が少ない人ほど、所得に占める税の負担の割合が高くなること（消費税の課題）。

例（架空）：どちらも、1年に20万円の消費税を払う

|     | 所得      | 消費税  | 割合 |
|-----|---------|------|----|
| Aさん | 250万円   | 20万円 | 8% |
| Bさん | 1,000万円 | 20万円 | 2% |

同じ額を払っても、所得が少ないAさんの方が、所得に占める割合は高くなります。

税の公平：所得の多い人が多く負担する考え方（累進課税）と、同じ物を買えば同じ額を負担する考え方（消費税）があり、日本は直接税と間接税を組み合わせています。

**注意** ×消費税は、所得の多い人ほど税率が高くなる ○消費税は、**だれでも同じ税率**。所得が多いほど税率が高くなるのは**所得税**（累進課税）

合言葉 「所得税は累進、消費税は逆進性」

→ まとめ：税金には直接税と間接税があり、累進課税と消費税を組み合わせる

## 4 政府は、税金で何をしている？

このページのゴール 社会資本と公共サービス、公共サービスを提供する所、財政の3つの役割を言える

### ① 社会資本と公共サービス

⑨後半で学んだ市場のしくみでは、うまくいかないことがあります。多くの人がいっしょに使い、使う人から料金を取りにくい物や、もうけが少ない物は、企業の力では十分に提供されにくいため、政府が税金で提供します。

**社会資本**（しゃかいしほん。インフラ）：道路・橋・港・上下水道・公園・学校・図書館など、生活や産業の土台になる施設。  
**公共サービス**：警察・消防・教育・ごみの収集など、政府が国民に提供するサービス。

| 提供する所  | 公共サービスの例                  |
|--------|---------------------------|
| 国      | 外交・防衛                     |
| 都道府県   | 警察・高等学校（多く）               |
| 市（区）町村 | 消防・ごみの収集・小学校と中学校（多く）・上下水道 |

### ② 財政の3つの役割

| 役割             | 何をする                                             | 例                |
|----------------|--------------------------------------------------|------------------|
| <u>資源配分の調整</u> | 社会資本や公共サービスを、税金を使って提供する                          | 道路・公園をつくる        |
| <u>所得の再分配</u>  | 所得の多い人から累進課税で多く集め、社会保障で生活に困っている人などを支え、所得の差を小さくする | 累進課税・社会保障        |
| <u>景気の安定化</u>  | 財政政策で、景気の行きすぎや落ちこみをおさえる                          | 公共投資の量を変える（5ページ） |

### ③ 所得の再分配（さいぶんばい）の流れ

- ① 所得の多い人ほど、多く税を納める（累進課税）
- ② 政府が、税金を集める
- ③ 生活に困っている人・高齢の人・子育て中の家庭などへ、社会保障として支える
- ④ 所得の差が小さくなる

**注意** × 警察も消防も、市町村の仕事 ○ 警察はおもに都道府県、消防は市（区）町村

合言葉 「配る・ならす・安定させる」

→ まとめ：財政は、社会資本や公共サービスを提供し、所得を再分配し、景気を安定させる

## 5 政府は、景気をどう安定させる？ 国の借金とは？

このページのゴール 財政政策（不況のとき・好況のとき）、公共投資、国債と財政の課題を言える

### ① 景気を安定させる財政政策

**財政政策**：政府が、税の量（増税・減税）や公共投資の量を変えて、景気を安定させようとする事。  
**公共投資**（公共事業。こうきょうとうし）：道路・橋・ダムなどの社会資本をつくるために、政府がお金を使うこと。

| 不況のとき                   | 好況のとき（景気が行きすぎた時）       |
|-------------------------|------------------------|
| ① 公共投資を増やす・減税する         | ① 公共投資を減らす・増税する        |
| ② 企業の仕事が増え、家計の使えるお金が増える | ② 企業の仕事が減り、家計の使えるお金が減る |
| ③ 生産や消費が活発になる           | ③ 生産や消費がおさえられる         |
| ④ 景気の回復をうながす            | ④ 景気の行きすぎをおさえる         |

例（架空・不況のとき）：A市で国が橋をつくる工事を行うと、建設会社の仕事が増えます。働く人の給料が増え、店での買い物が増えます。

|           | だれが  | 何を変える                  |
|-----------|------|------------------------|
| 金融政策（⑩前半） | 日本銀行 | 国債などの売り買いで、世の中に出回るお金の量 |
| 財政政策      | 政府   | 公共投資と税の量               |

### ② 国債と財政の課題

**国債**（こくさい）：国が借金をするときに発行する証書。税金で足りない分を補う。国債の返済と利子の支払いを**国債費**という。

国債の残高は増え続け、1,000兆円をこえています（2020年代）。返すのは将来の世代で、国債費が増えると、社会保障や教育など、ほかの仕事に使えるお金が減ります。地方公共団体も、借金のために地方債を発行します（⑦後半で学んだ）。

**注意** × 国債を発行すれば、税金を集めなくても、いくらでも仕事ができる ○ 国債は**借金**で、利子をつけて返す。返すのは将来の世代

**合言葉** 「不況は増やして減らす（公共投資を増やし、税を減らす）」

→ まとめ：政府は財政政策で景気を安定させ、足りない分は国債で借りる

## 6 社会保障とは何？どんなしくみがある？

このページのゴール 生存権と社会保障、社会保障の4つの柱を言う

### ① 社会保障と生存権

⑤後半で学んだ**生存権**（日本国憲法第25条）は、「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。」と定めています。国は、社会保障などを向上させるよう努めなければなりません。日本の社会保障制度は、**生存権**にもとづいています。

**社会保障：病気・けが・高齢・失業・障がいなどで生活が苦しくなったときに、国や地方公共団体が生活を支えるしくみ。**

### ② 社会保障の4つの柱

| 柱                       | 何をする                                            | 例              |
|-------------------------|-------------------------------------------------|----------------|
| <b>社会保険</b>             | 加入する人が保険料を納め、病気・高齢・失業などのときに給付を受ける               | 医療保険・年金保険・介護保険 |
| <b>公的扶助</b> （ふじょ）       | 生活に困っている人に、生活保護法にもとづいて生活費や教育費などを支給する            | 生活保護           |
| <b>社会福祉</b>             | 高齢者・障がいのある人・子ども・ひとり親の家庭など、支えが必要な人に、施設やサービスを提供する | 保育所・老人ホーム      |
| <b>公衆衛生</b> （こうしゅうえいせい） | 感染症の予防・予防接種・上下水道の整備・ごみの処理などで、人々の健康を守る           | 予防接種・保健所       |



保健所  
（香川県 高松市）  
写真：ラハール（CC BY-SA 3.0）。Wikimedia Commons  
より、白黒にして切り取った

### ③ 暮らしの場面で見分ける

| 場面                          | 4つの柱       |
|-----------------------------|------------|
| かぜで病院にかかる                   | 社会保険（医療保険） |
| 保育所や老人ホームを利用する              | 社会福祉       |
| インフルエンザの予防接種を受ける。保健所が感染症を防ぐ | 公衆衛生       |
| 収入が無く、生活できない                | 公的扶助       |

**注意** × 社会保障は、生活に困っている人だけのしくみ ○ 医療保険や年金など、**だれもが使う**しくみも多い

合言葉 「保険・扶助・福祉・衛生」

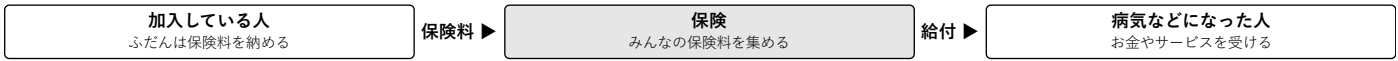
→ まとめ：社会保障は生存権にもとづき、4つの柱で生活を支える

## 7 社会保険は、どうやって支え合う？

このページのゴール 保険のしくみ、社会保険の種類、国民皆保険・国民皆年金、自助・共助・公助を言える

### ① 保険のしくみ

社会保険は、加入している人がふだんから保険料を出し合い、病気・高齢・失業などになった人に給付するしくみです。みんなで支え合います。国や事業主（会社）も、費用の一部を出します。



### ② 社会保険の種類

| 種類                | 何のとき             | 何を受ける                                |
|-------------------|------------------|--------------------------------------|
| <u>医療保険</u>       | 病気やけがをしたとき       | かかった医療費の一部を自分で払い、残りは保険から             |
| <u>年金保険</u>       | 高齢・障がいなど         | 年金を受け取る                              |
| <u>介護保険</u> （かいご） | 介護が必要になったとき      | 介護のサービス。40歳以上の人が加入して保険料を納める（2000年から） |
| <u>雇用保険</u>       | 失業したとき           | 給付を受ける                               |
| <u>労災保険</u>       | 仕事の原因でけがや病気をしたとき | 給付を受ける                               |

医療費の例（架空）：医療費が1万円で自己負担が3割なら、窓口で払うのは3,000円で、残りの7,000円は医療保険から払われます。

国民皆保険・国民皆年金：すべての国民が、医療保険と年金保険に加入するしくみ（1961年に実現）。国民年金には、20歳以上60歳未満の人はみな加入する。

### ③ 自助・共助・公助

|           | 意味              | 例         |
|-----------|-----------------|-----------|
| <u>自助</u> | 自分や家族で備える       | 貯金など      |
| <u>共助</u> | 互いに支え合う         | 社会保険      |
| <u>公助</u> | 国や地方公共団体が税金で支える | 公的扶助・社会福祉 |

**注意** × 介護保険は、介護を受ける高齢者だけが保険料を納める ○ 40歳以上の人が加入して、保険料を納める

合言葉 「みんなで出して、困った人に」

→ まとめ：社会保険は、保険料を出し合って支え合う（共助）

## 8 少子高齢化は、社会保障にどんな影響がある？

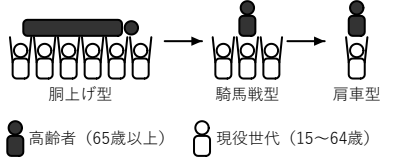
このページのゴール 少子高齢化、年齢の3つの区分、社会保障給付費、現役世代の負担が重くなるわけを言える

### ① 少子高齢化と年齢の区分

**少子高齢化**（しょうしこうれいか）：生まれる子どもの数が減り（少子化）、人口に占める65歳以上の高齢者の割合が高くなる（高齢化）こと。日本は、世界の中でも高齢化が進んでいる国。

| 区分     | 年齢と特色                                    |
|--------|------------------------------------------|
| 年少人口   | 0～14歳                                    |
| 生産年齢人口 | 15～64歳。主に働いて、税金や保険料を納める世代（ <b>現役世代</b> ） |
| 老年人口   | 65歳以上（高齢人口ともいう）                          |

**社会保障給付費**：年金・医療・介護などで、国民に給付されるお金。高齢者が増えて、増え続けている。最も多いのは年金。



### ② 支える形の変化

上の図の黒の人が高齢者、白の人が現役世代です。多くの現役世代で高齢者1人を支える形（**胴上げ型**）から、少ない人数で支える形（**騎馬戦型**）になり、1人で1人を支える形に近づいています（**肩車型**）。

### ③ 現役世代の負担が重くなるわけ

高齢者の割合が増え、現役世代の割合が減ると、給付を受ける人は増えるのに、保険料や税金を納める人は減ります。そのため、現役世代1人あたりの負担が重くなり、社会保障の財源も足りなくなりやすくなります。

少子化への取り組みの例：保育所を増やす・育児休業を取りやすくする（⑨後半で学んだ）・子育ての費用を支える。

**注意** × 高齢者が増えれば、保険料を納める人も増えるので、財源は足りる ○ 保険料や税を主に納める**現役世代は減る**ので、足りなくなりやすい

合言葉 「支える人が減り、支えられる人が増える」

→ まとめ：少子高齢化で、現役世代の負担が重くなる

## 9 負担と給付のバランスをどう考える？

このページのゴール 負担と給付の関係、大きな政府と小さな政府、社会保障の充実と経済成長の両立が難しいわけを言える

### ① 負担と給付の関係

社会保障の給付を手厚くするには、税金や保険料の負担を大きくする必要があります。負担を小さくすると、給付は少なくなりやすくなります。

|       | 負担が大きい             | 負担が小さい      |
|-------|--------------------|-------------|
| 給付    | 手厚い（高福祉高負担）        | 少ない（低福祉低負担） |
| 近い国の例 | 北ヨーロッパの国（スウェーデンなど） | アメリカ        |

**大きな政府：**税などの負担は大きい、政府が社会保障などの仕事を多く行う考え方。  
**小さな政府：**税などの負担を小さくし、政府の仕事を少なくして、個人や企業に任せる考え方。

### ② 増税と経済成長

社会保障の財源のために増税すると、景気が悪くなることがあります。そのため、社会保障の充実と経済成長を両立させるのは難しいのです。



### ③ 社会保障の見直しと、案のくらべ方

見直しの例：保険料や税金を引き上げる・医療費などの自己負担を引き上げる・年金を受け取り始める年齢を遅くする・働く高齢者を増やす・少子化への取り組みを進める。医療費などの自己負担の割合を引き上げると、保険から払われる分（給付）は少なくなります（7ページの医療費の例）。

案は、負担と給付の向きでくらべられます。例（架空）：

| 案                         | 負担   | 給付   |
|---------------------------|------|------|
| A案「税を上げて、保育所や介護のサービスを増やす」 | 大きい  | 多い   |
| B案「税を上げず、サービスは今のまま」       | おさえる | おさえる |

**注意** × 社会保障を手厚くしても、税金や保険料は増えない ○ 給付を手厚くするには、**負担を大きくする**が必要になる

合言葉 「手厚くすれば、負担も大きく」

→ まとめ：負担と給付のバランスを考え、社会保障と経済成長の両立をめざす

## 10 公害は、なぜ起こり、どう取り組んできた？

このページのゴール 公害、四大公害病（地域と原因）、公害対策基本法と環境庁を言える

### ① 公害と四大公害病

**公害**：企業の生産活動や人々の生活によって、地域の人々の健康や生活環境がそこなわれること。大気汚染・水質汚濁（おだく）・土壌汚染・騒音・振動・地盤沈下・悪臭の7つがある。

③後半で学んだ高度経済成長（1950年代後半～1970年代初め）のころ、生産を優先して、各地で公害が深刻になりました。特に被害が大きかった4つを**四大公害病**といいます。

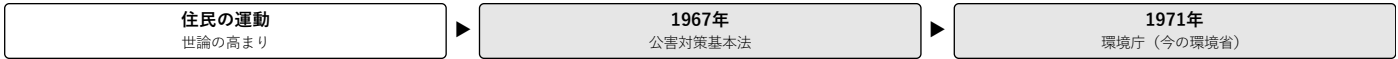
| 病名                   | 地域                     | 原因                         |
|----------------------|------------------------|----------------------------|
| <u>水俣病</u> （みなまたびょう） | 熊本県・鹿児島県の八代海（やつしろかい）沿岸 | 工場の排水にふくまれた有機水銀            |
| <u>新潟水俣病</u>         | 新潟県の阿賀野川（あがのがわ）流域      | 工場の排水にふくまれた有機水銀            |
| <u>イタイイタイ病</u>       | 富山県の神通川（じんづうがわ）流域      | 鉱山から流れ出たカドミウム              |
| <u>四日市ぜんそく</u>       | 三重県四日市（よっかいち）市         | 石油化学コンビナートの工場から出たけむり（大気汚染） |



石油化学コンビナート（三重県 四日市市）  
写真：TAKAYOSHI ENDOU (CC BY 4.0)。Wikimedia Commons  
より、白黒にして切り取った

被害を受けた住民が、原因の企業を相手に裁判を起こし、1970年代の前半に4つとも患者側が勝訴しました（四大公害裁判）。

### ② 公害への取り組み



**公害対策基本法**は、公害を防ぐための法律で、国・地方公共団体・企業の責任を定めました。国より先に、条例で工場のけむりや排水の規制を強めた地方公共団体もありました（⑦後半の条例）。こうした取り組みで、工場など企業が原因の公害は減りました。

**注意** × 四日市ぜんそくは、工場の排水が原因 ○ 石油化学コンビナートの工場から出た**けむり**（大気汚染）

合言葉 「水俣・新潟は有機水銀、イタイイタイはカドミウム、四日市はけむり」

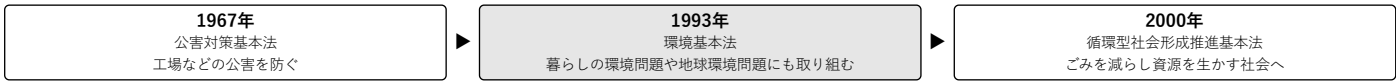
→ まとめ：公害を防ぐ法律と取り組みが進み、1967年に公害対策基本法、1971年に環境庁ができた

## 11 ごみや資源の問題に、どう取り組む？

このページのゴール 暮らしから生まれる環境問題、環境基本法、循環型社会と3Rを言える

### ① 新しい環境問題と3つの法律

企業が原因の公害が減る一方で、自動車の排気ガス・生活の騒音・家庭のごみなど、私たちの暮らしから生まれる問題が目立つようになりました。地球温暖化などの地球環境問題（くわしくは⑩）も広がりました。そこで、法律も発展してきました。



### ② 循環型社会と3R

大量生産・大量消費・大量廃棄の暮らしでは、ごみが増え、資源がむだになります。

**循環型社会**（じゅんかんがたしゃかい）：資源をくり返し有効に使い、ごみ（廃棄物）をできるだけ減らして、環境への負担を小さくする社会。

| 3R           | 何をする        | 例                                   |
|--------------|-------------|-------------------------------------|
| <u>リデュース</u> | ごみになる物を減らす  | 買い物にマイバッグを持っていく・つめかえ用の商品を選ぶ         |
| <u>リユース</u>  | くり返し使う      | 古着や古本を使う・びんを洗ってまた使う                 |
| <u>リサイクル</u> | 資源として再び利用する | ペットボトルを回収して服の繊維に・アルミ缶をとкаして新しいアルミ缶に |

### ③ 取り組む主体と水俣市の例

取り組む主体：住民（分別・3R）、企業（リサイクルしやすい製品・工場の排水やけむりの処理）、国や地方公共団体（法律や条例・ごみの分別の決まり）。水俣病を経験した熊本県水俣市は、ごみの細かい分別やリサイクルに市民と取り組み、2008年に国の「環境モデル都市」に選ばれました。

**注意** × リサイクルすれば、ごみをいくら出してもよい ○ まず**ごみを減らす**（リデュース）、次に**くり返し使う**（リユース）、最後に**資源にする**（リサイクル）

合言葉 「減らす・くり返す・資源にする」

→ まとめ：ごみを減らし資源を生かす循環型社会をめざす

## 12 国の経済の大きさは、どう測る？

このページのゴール 国内総生産（GDP）と付加価値、経済成長と経済成長率、1人あたりGDPを言える

### ① 国内総生産（GDP）と付加価値

**国内総生産（GDP）**：1年間に、国内で新しく生み出された財やサービスの価値（**付加価値**〔ふかち〕）の合計。国の経済の大きさを表す。  
**付加価値**：売り上げから、原材料などほかから買った物の代金を引いた物。

例（架空）：農家が小麦を2万円で製粉会社に売り、製粉会社が小麦粉を5万円でパン屋に売り、パン屋がパンを10万円で売ります。

農家

小麦を2万円で売る

▶

製粉会社

小麦粉を5万円で売る

▶

パン屋

パンを10万円で売る

|      | 新しく生まれた価値（付加価値）  | わけ           |
|------|------------------|--------------|
| 農家   | 2万円              | 小麦を売った分      |
| 製粉会社 | 5万円－2万円＝3万円      | 小麦の代金を引く     |
| パン屋  | 10万円－5万円＝5万円     | 小麦粉の代金を引く    |
| 合計   | 2万円＋3万円＋5万円＝10万円 | これがGDPに数えられる |

売り上げを全部足した17万円ではありません。小麦の分を何回も数えないためです。

### ② 経済成長と1人あたりGDP

**経済成長**：GDPが増えること。**経済成長率**：GDPが前の年から何%増えたか。  
**1人あたりGDP**：GDPを人口で割った物。国民1人あたりの豊かさの目安。

|          | 例（架空）                                                                          |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------|
| 経済成長率    | GDPが500兆円から510兆円になった → $\frac{510-500}{500} \times 100 = 2$ （%）                |
| 1人あたりGDP | GDPが100兆円で人口が2,000万人 → $100 \text{ 兆円} \div 2,000 \text{ 万人} = 500 \text{ 万円}$ |

日本は、高度経済成長の時期（③後半）に経済成長率が高かったが、その後は低い成長が続いています。

**注意** × GDPは、生産された物の売り上げを全部足した物 ○ 原材料などの分を引いた**付加価値の合計**（何回も数えない）

合言葉 「GDPは、新しく生まれた価値の合計」

→ まとめ：経済の大きさはGDPで測る

## 13 本当の豊かさとは？持続可能な社会のために何ができる？

このページのゴール GDPで表せない物、豊かさのほかの物差し、持続可能な社会を言える

### ① GDPで表せない物

| GDPで表せない物        | なぜ表せないか     |
|------------------|-------------|
| 家族の家事や子育て・ボランティア | お金のやり取りが無い  |
| 自然環境のよさ          | 値段がつかない     |
| 健康や自由な時間         | お金に直せない     |
| 所得の差（格差）         | 合計や平均では見えない |

反対に、公害や事故の後片づけにかかった費用は、GDPを増やします。GDPが増えても、人々が豊かになったとは限りません。

### ② 豊かさのほかの物差し

| 物差し         | 何で測るか                       |
|-------------|-----------------------------|
| GDP         | 国内で新しく生み出された価値の合計           |
| 1人あたりGDP    | GDPを人口で割った物                 |
| 人間開発指数      | 国連が、健康（平均寿命）・教育・所得で国の豊かさを測る |
| 国民総幸福量（GNH） | ブータンが、人々の幸福を重く見て測る          |

### ③ 持続可能な社会

**持続可能な社会：将来の世代が必要とする物をそこなわずに、今の世代の必要を満たす社会。経済の成長と、環境の保全・だれもが安心して暮らせる社会（社会保障）を両立させる。**

2015年に国連で、持続可能な開発目標（SDGs）が採択されました（くわしくは⑪）。

私たちにできることの例：3R（11ページ）・電気や水をむだにしない・環境に配慮した商品を選ぶ・税金や社会保障のしくみを知り、選挙で意見を示す（⑧で学んだ）。

**注意** × GDPが増えれば、だれもが豊かになったといえる ○ 公害の後片づけでもGDPは増え、家事や自然のよさは表せない

合言葉 「豊かさはGDPだけで測れない」

→ まとめ：豊かさはGDPだけで測れず、持続可能な社会をめざす

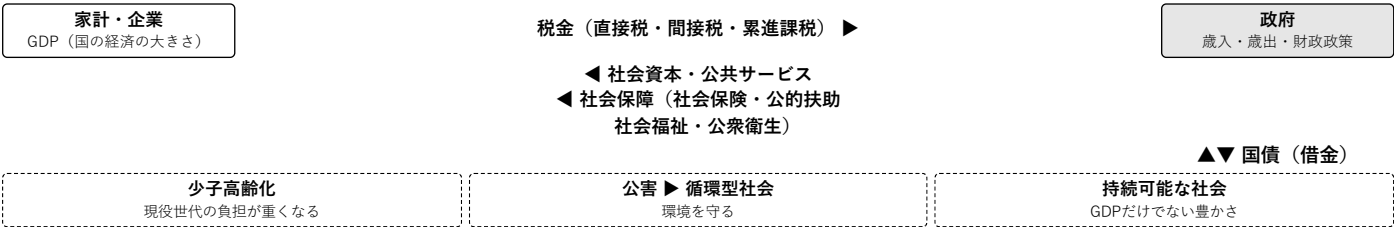
## 14 政府は、税金で暮らしをどう支え、どんな社会をめざす？

このページのゴール 2～13ページを、ステップチャートで順につないで、1ページの問いに答えられる

### ① ステップチャート

|                                     |            |
|-------------------------------------|------------|
| ① 政府は税金などで歳入を集め、予算にもとづいて歳出として使う（財政） | くわしくは2ページ  |
| ② 税には直接税と間接税があり、累進課税と消費税を組み合わせる     | くわしくは3ページ  |
| ③ 財政は、社会資本や公共サービスを提供し、所得を再分配する      | くわしくは4ページ  |
| ④ 政府は財政政策で景気を安定させ、足りない分は国債で借りる      | くわしくは5ページ  |
| ⑤ 社会保障は生存権にもとづき、4つの柱で生活を支える         | くわしくは6ページ  |
| ⑥ 社会保険は、保険料を出し合って支え合う               | くわしくは7ページ  |
| ⑦ 少子高齢化で、現役世代の負担が重くなる               | くわしくは8ページ  |
| ⑧ 負担と給付のバランスを考え、社会保障と経済成長の両立をめざす    | くわしくは9ページ  |
| ⑨ 公害を防ぐ法律と取り組みが進んだ                  | くわしくは10ページ |
| ⑩ ごみを減らし資源を生かす循環型社会をめざす             | くわしくは11ページ |
| ⑪ 経済の大きさはGDPで測る                     | くわしくは12ページ |
| ⑫ 豊かさはGDPだけで測れず、持続可能な社会をめざす         | くわしくは13ページ |

### ② 税金と財政の全体図



### ③ 問いの答えの例

政府は、税金や国債でお金を集め、社会資本や公共サービス・社会保障で暮らしを支え、累進課税と社会保障で所得の差を小さくし、財政政策で景気を安定させます。少子高齢化で現役世代の負担が重くなるので、負担と給付のバランスを考える必要があります。公害の経験から環境を守るしくみをつくり、循環型社会をめざしています。これからは、GDPだけでなく、環境や安心も大切にする持続可能な社会をめざします。

答えと解説は19・20ページ（10枚目の紙）にあります。【 】は、わからないときに読み直すページです。

## 確認問題② 社会保障のしくみ・これからの社会保障

### 4 社会保障のしくみについて答えなさい。【6・7ページ】

次の(1)～(3)の場面は、社会保障の4つの柱のうち、どれにあたりますか。

- (1) 市が、上下水道を整えて、きれいな水を家庭に届ける。 \_\_\_\_\_
- (2) 障がいのある人が通う施設で、サービスを受ける。 \_\_\_\_\_
- (3) けがで病院にかかり、医療費の一部を、保険が払ってくれる。  
\_\_\_\_\_
- (4) 介護保険に加入するのは、何歳以上の人ですか。 \_\_\_\_\_
- (5) 失業したときに給付を受けられる社会保険は、何ですか。 \_\_\_\_\_
- (6) すべての国民が、医療保険と年金保険に加入するしくみを、まとめて何といいますか。  
\_\_\_\_\_
- (7) 社会保険は、自助・共助・公助のどれにあたりますか。 \_\_\_\_\_
- (8) Cさんが、医療費が6,000円の病院にかかりました。自己負担が3割のとき、窓口で払う金額は何円ですか。 \_\_\_\_\_円
- (9) 社会保険は、加入している人がふだんから（ ）を出し合い、病気などになった人に給付するしくみです。（ ）にあてはまる語を書きなさい。  
\_\_\_\_\_

### 5 高齢化とこれからの社会保障について答えなさい。【8・9ページ】

- (1) 65歳以上の人口を、何といいますか。 \_\_\_\_\_
- (2) 生産年齢人口は、何歳から何歳までですか。 \_\_\_\_\_
- (3) 支える形を、現役世代が多い順に並べ、記号で書きなさい。 ア 騎馬戦型 イ 肩車型 ウ 胴上げ型  
\_\_\_\_\_
- (4) 年金・医療・介護などで、国民に給付されるお金を、何といいますか。  
\_\_\_\_\_
- (5) 税などの負担は大きいが、政府が社会保障などの仕事を多く行う考え方を、何といいますか。  
\_\_\_\_\_
- (6) 社会保障を続けるための見直しの例を、2つ選びなさい。 ア 働く高齢者を増やす イ 保育所数を減らす ウ 年金を受け取り始める年齢を遅くする  
エ 年金を受け取り始める年齢を早くする  
\_\_\_\_\_
- (7) 社会保障の財源のために増税すると、景気が悪くなる可能性があるのは、なぜですか。  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

## 確認問題③ 環境を守る取り組み・豊かさ・まとめ

### 6 環境を守る取り組みについて答えなさい。【10・11ページ】

(1) 企業の生産活動や人々の生活によって、地域の人々の健康や生活環境がそこなわれることを、何といいますか。

\_\_\_\_\_

(2) イタイイタイ病が起きた地域と原因の組み合わせとして、正しい物を1つ選びなさい。

ア 熊本県の八代海沿岸・有機水銀

イ 新潟県の阿賀野川流域・カドミウム

ウ 富山県の神通川流域・カドミウム

エ 三重県四日市市・有機水銀 \_\_\_\_\_

(3) 四日市ぜんそくが起きた地域と原因の組み合わせとして、正しい物を1つ選びなさい。

ア 三重県四日市市・工場から出たけむり

イ 熊本県の八代海沿岸・有機水銀

ウ 新潟県の阿賀野川流域・有機水銀

エ 富山県の神通川流域・カドミウム \_\_\_\_\_

(4) 1971年に置かれた、環境を守る国の役所を何といいますか。 \_\_\_\_\_

(5) 資源をくり返し有効に使い、ごみをできるだけ減らして、環境への負担を小さくする社会を、何といいますか。

\_\_\_\_\_

次の(6)～(8)の場面は、3Rのうち、どれにあたりますか。

(6) 使わなくなったベビーカーを、知り合いにゆずる。 \_\_\_\_\_

(7) 買い物のとき、過剰な包装を断る。 \_\_\_\_\_

(8) 古紙を回収して、トイレットペーパーにする。 \_\_\_\_\_

### 7 豊かさについて答えなさい。【12・13ページ】

(1) 1年間に、国内で新しく生み出された財やサービスの価値（付加価値）の合計を、何といいますか。

\_\_\_\_\_

(2) 木材を3万円で家具会社に売る。家具会社がいすをつくって8万円で店に売る。店が12万円で売る。このとき、新しく生まれた価値の合計は何万円ですか。 \_\_\_\_\_ 万円

(3) GDPが400兆円から412兆円になりました。経済成長率は何%ですか。 \_\_\_\_\_ %

(4) 1人あたりGDPを求めます。GDPが60兆円、人口が1,500万人のとき、1人あたりGDPは何万円ですか。 \_\_\_\_\_ 万円

(5) GDPにふくまれない物を2つ選びなさい。 ア 自動車会社が新しくつくった自動車 イ 家族が家でする家事 ウ 美容院が提供するサービス エ ボランティア活動

\_\_\_\_\_

(6) 将来の世代が必要とする物をそこなわずに、今の世代の必要を満たす社会を、何といいますか。

\_\_\_\_\_

(7) GDPが増えても、人々が豊かになったとは限らないのは、なぜですか。

\_\_\_\_\_

### 8 まとめ（ステップチャート）について答えなさい。【2～14ページ】

(1) ④ 政府は財政政策で景気を安定させ、足りない分は（ ）を発行して借りる。 \_\_\_\_\_

(2) ⑤ 社会保障は生存権にもとづき、（ ）つの柱で生活を支える。 \_\_\_\_\_

(3) 財政政策と金融政策のちがいを、「政府」「日本銀行」の語を使って書きなさい。

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

覚えることの一覧（何も見ずに書けるか、紙でかくして確かめよう）

税金と財政（2～5ページ）

|             |                                                                                           |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| 財政・歳入・歳出・予算 | 財政＝政府が税金などでお金を集め、国民のために仕事をする経済の活動。歳入＝1年間の収入。歳出＝1年間の支出。予算＝歳入と歳出の計画（国会が議決）。歳出で最も多いのは社会保障関係費 |
| 納税の義務       | 日本国憲法第30条。税の種類や税率は国会が法律で決める                                                               |
| 税の種類        | 国税（所得税・法人税・相続税・消費税など）と地方税（住民税・固定資産税など）。直接税＝納める人と負担する人が同じ。間接税＝異なる（消費税・酒税）                  |
| 累進課税・逆進性    | 累進課税＝所得が多い人ほど高い税率（所得税）。逆進性＝所得が少ない人ほど所得に占める税の負担の割合が高い（消費税）                                 |
| 社会資本・公共サービス | 社会資本＝道路・橋・上下水道・学校など。公共サービス＝警察・消防・教育・ごみの収集など。警察はおもに都道府県、消防は市（区）町村                          |
| 財政の3つの役割    | 資源配分の調整・所得の再分配・景気の安定化                                                                     |
| 財政政策        | 不況：公共投資を増やす・減税。好況：公共投資を減らす・増税。金融政策は日本銀行、財政政策は政府                                           |
| 国債・国債費      | 国債＝国の借金の証書。国債費＝返済と利子の支払い。残高が増えると、将来の世代の負担になり、ほかの仕事に使えるお金が減る                               |

社会保障と少子高齢化（6～9ページ）

|          |                                                                                        |
|----------|----------------------------------------------------------------------------------------|
| 生存権・社会保障 | 生存権＝日本国憲法第25条。社会保障＝病気・高齢・失業などで生活が苦しいとき、国や地方公共団体が支えるしくみ                                 |
| 4つの柱     | 社会保険（医療・年金・介護・雇用・労災）・公的扶助（生活保護）・社会福祉・公衆衛生                                              |
| 社会保険     | 介護保険＝40歳以上が加入（2000年から）。国民皆保険・国民皆年金＝1961年。自助（自分や家族で備える）・共助（社会保険）・公助（税金で支える）             |
| 少子高齢化    | 年少人口（0～14歳）・生産年齢人口（15～64歳。現役世代）・老年人口（65歳以上）。胴上げ型→騎馬戦型→肩車型。社会保障給付費で最も多いのは年金             |
| 負担と給付    | 給付を手厚くするには負担を大きくする。大きな政府＝負担が大きく仕事が多い。小さな政府＝負担が小さく仕事が少ない。増税→使えるお金が減る→消費が減る→景気が悪くなることがある |

公害と環境（10・11ページ）

|          |                                                                            |
|----------|----------------------------------------------------------------------------|
| 公害       | 大気汚染・水質汚濁・土壌汚染・騒音・振動・地盤沈下・悪臭                                               |
| 四大公害病    | 水俣病（八代海沿岸・有機水銀）・新潟水俣病（阿賀野川流域・有機水銀）・イタイイタイ病（神通川流域・カドミウム）・四日市ぜんそく（四日市市・大気汚染） |
| 法律と役所    | 1967年 公害対策基本法→1971年 環境庁→1993年 環境基本法→2000年 循環型社会形成推進基本法                     |
| 循環型社会・3R | 循環型社会＝資源をくり返し使い、ごみを減らす社会。3R＝リデュース（減らす）・リユース（くり返し使う）・リサイクル（資源にする）           |

豊かさ（12・13ページ）

|     |                                                                                         |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| GDP | 国内総生産＝国内で1年間に新しく生まれた付加価値の合計。付加価値＝売り上げ－原材料などの代金。経済成長＝GDPが増えること。1人あたり $GDP = GDP \div 人口$ |
| 豊かさ | GDPで表せない物（家事・ボランティア・自然環境など）。人間開発指数。持続可能な社会＝将来の世代の必要をそこなわずに、今の世代の必要を満たす社会                |

合言葉

「税金は、みんなで出し合う暮らしの会費」／「所得税は累進、消費税は逆進性」／「配る・ならす・安定させる」／「不況は増やして減らす」／「保険・扶助・福祉・衛生」／「みんなで出して、困った人に」／「支える人が減り、支えられる人が増える」／「手厚くすれば、負担も大きく」／「水俣・新潟は有機水銀、イタイイタイはカドミウム、四日市はけむり」／「減らす・くり返す・資源にする」／「GDPは、新しく生まれた価値の合計」／「豊かさはGDPだけで測れない」

確認問題の答えと解説

1【2ページ】

- (1) 歳出 (2) 歳入 (3) 国会  
(4) ウ (5) 日本国憲法  
(6) イ、エ  
(1) 1年間の支出が歳出（収入は歳入）。(2) 1年間の収入が歳入。(3) 国の予算は内閣がつくり、国会が議決する。(4) 社会保障関係費が最も多い（年金・医療・介護など）。(5) 第30条が納税の義務。(6) 公園の整備と図書館は税金で整える。民間の学習塾とコンビニエンスストアは企業の商売。

2【3ページ】

- (1) 直接税  
(2) 地方税 (3) 国税 (4) 地方税  
(5) 累進課税  
(6) 120万円  
(7) 法人税  
(1) 納める人と負担する人が同じ税。(2)～(4) 住民税・固定資産税は地方税、所得税は国税。(5) 所得が多い人ほど高い税率。(6)  $200\text{万円} \times 10\% = 20\text{万円}$ 、 $(700\text{万円} - 200\text{万円}) \times 20\% = 100\text{万円}$ 、合計  $20\text{万円} + 100\text{万円} = 120\text{万円}$ 。(7) 法人税は会社などの所得にかかる。

3【4・5ページ】

- (1) 社会資本（インフラ）  
(2) 資源配分の調整 (3) 所得の再分配  
(4) 市（区）町村 (5) 公共投資（公共事業も正解）  
(6) 増やす (7) 減税  
(8) 国債費  
(9) （例）返すのは将来の世代で、ほかの仕事に使えるお金が減る。  
(1) 生活や産業の土台になる施設。(2) 外交のような公共サービスを税金で提供するのは資源配分の調整。(3) 累進課税で集めて生活に困る家庭を支えるのは所得の再分配。(4) 警察は都道府県、消防は市（区）町村。(5) 社会資本をつくるために政府が使うお金。(6) (7) 不況のときは、公共投資を増やし、減税して、景気の回復をうながす。(8) 国債の返済と利子の支払い。(9) 入れる語「将来の世代」「ほかの仕事」。

4【6・7ページ】

- (1) 公衆衛生 (2) 社会福祉 (3) 社会保険  
(4) 40歳 (5) 雇用保険  
(6) 国民皆保険・国民皆年金  
(7) 共助 (8) 1,800円  
(9) 保険料  
(1) 上下水道の整備で人々の健康を守るのは公衆衛生。(2) 施設やサービスの提供は社会福祉。(3) 保険に加入して給付を受けるのは社会保険。(4) 介護保険は40歳以上が加入。(5) 失業のときは雇用保険。(6) 医療保険と年金保険に全員が加入。(7) 互いに支え合うのは共助。(8)  $6,000\text{円} \times \frac{3}{10} = 1,800\text{円}$ 。(9) 保険料を出し合い、給付する。

5【8・9ページ】

- (1) 老年人口（高齢人口も正解） (2) 15歳から64歳まで  
(3) ウーアーイ (4) 社会保障給付費  
(5) 大きな政府  
(6) ア、ウ  
(7) （例）家計の使えるお金が減って消費が減り、企業の生産も減るから。  
(1) 65歳以上の人口。(2) 生産年齢人口は15～64歳。(3) 現役世代が多い順は、胴上げ型（ウ）→ 騎馬戦型（ア）→ 肩車型（イ）。(4) 年金・医療・介護などで給付されるお金（最も多いのは年金）。(5) 負担が大きく、政府の仕事が多い考え方。(6) 働く高齢者を増やす（ア）・年金を受け取り始める年齢を遅くする（ウ）は9ページの見直しの例。保育所を減らす（イ）・年齢を早くする（エ）は反対の向き。(7) 入れる語「使えるお金」「消費」。

## 6【10・11ページ】

(1) 公害 (2) ウ (3) ア

(4) 環境庁 (5) 循環型社会

(6) リユース (7) リデュース (8) リサイクル

(2) イタイイタイ病は富山県の神通川流域・釜山から流れ出たカドミウム。(3) 四日市ぜんそくは三重県四日市市・工場から出たけむり（大気汚染）。(4) 1971年に環境庁。(6) ゆずる＝くり返し使う。(7) 包装を断る＝ごみを減らす。(8) 古紙を資源として再び利用する。

## 7【12・13ページ】

(1) 国内総生産（GDP） (2) 12万円

(3) 3% (4) 400万円

(5) イ、エ

(6) 持続可能な社会

(7) (例) 家事のようにお金のやり取りが無い物は表せず、公害の後片づけでもGDPは増えるから。

(2)  $3\text{万円} + (8\text{万円} - 3\text{万円}) + (12\text{万円} - 8\text{万円}) = 3\text{万円} + 5\text{万円} + 4\text{万円} = 12\text{万円}$ 。(3)  $\frac{412 - 400}{400} \times 100 = 3$  (%)。(4)  $60\text{兆円} \div 1,500\text{万人} = 400\text{万円}$ 。(5) 家事とボランティアはお金のやり取りが無い。(7) 入れる語「お金のやり取り」「公害」。

## 8【2～14ページ】

(1) 国債 (2) 4

(3) (例) 財政政策は政府が公共投資と税の量を変え、金融政策は日本銀行が国債などの売り買いで出回るお金の量を変える。

(1)(2) 14ページのステップチャートの④と⑤。(3) 入れる語「政府」「日本銀行」(5ページ)。